コーヒーなど飲み物を片手に舞台芸術のトップランナーたちのトークを聞いて、パフォーマンスをもっと身近に感じてもらう「カフェトーク」。
今回は「あいちトリエンナーレ2019」パフォーミングアーツに関連させ、最新のパフォーマンスの状況をお伝えするとともに舞台芸術の魅力に迫ります。

愛知県芸術劇場

カフェトーク × あいちトリエンナーレ2019 パフォーミングアーツ

ゲスト×観客で考える舞台の楽しみ方

『ジェンダーとアート』

9月8日(日) 18:30〜20:00

性、生、身体感覚に向き合う作品が多数登場する今回のあいちトリエンナーレを例に
ジェンダーの問題をアートの中で描くことについてお話しします。

Photo: Mizuki Sato

市原 佐都子 〈いちはら さとこ〉

□ 劇団Q主宰、劇作家・演出家、「あいちトリエンナーレ2019」参加アーティスト

2011 年より劇団 Q を主宰。人間の行動や身体にまつわる生理、その違和感を独自の言語センスと身体感覚で捉えた劇作、演出を行う。女性の視点から、性や、異種間の交尾・交配などがフラットに描かれる戯曲では、観客の身体を触覚的に刺激する言葉が暴走し、舞台上の俳優たちは時に戯画的に、時に露悪的に台詞を全身から発散させる。そこでは、男性中心的、人間中心的に語られてきた性や生殖行為が無効化し、社会のマジョリティを覆っている倫理観や道徳観念にもラジカルな疑いがかけられる。11 年、戯曲『虫』で第 11 回 AAF 戯曲賞受賞。 http://qqq-qqq-qqq.com

『パフォーミングアーツとアーカイブ』

11月8日(金) 19:30〜21:00

あいちトリエンナーレのパフォーミングアーツ公演を振り返りながら
フェスティバルや劇場での上演作品を
どのような形で残していくことが可能かお話しします。

Photo:Yurika Kawano

相馬 千秋 〈そうま ちあき〉

□ アートプロデューサー、NPO法人芸術公社代表理事、「あいちトリエンナーレ2019」キュレーター(パフォーミングアーツ)

早稲田大学第一文学部卒業、リュミエール・リヨン第二大学文化人類学・社会学大学院 DESS 課程修了。横浜の舞台芸術創造拠点である急な坂スタジオの初代ディレクター、国際舞台芸術祭・フェスティバル / トーキョー(F / T)の初代プログラム・ディレクター、文化庁文化審議会文化政策部会委員などを歴任。演劇、美術、社会関与型アートなどを横断するプロジェクトのプロデュース、キュレーションを国内外で多数手がけている。

場所 喫茶アルス
(愛知芸術文化センター地下 2 階 アートプラザ内)

定員 30名程度
(予約優先。当日お席に余裕があれば入場可)

申込方法 E-Mail **ws27@aaf.or.jp** または Fax **052-971-5541**
件名:「カフェトーク ○月○日申込」
①お名前
②ご連絡先(電話番号等)
③ゲストへの質問(あれば)を記載の上、お申込みください。

ワンドリンク制

お預かりした個人情報は、愛知県芸術劇場[(公財)愛知県文化振興事業団]にて厳重に管理し、本事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。

主催・お問合せ 愛知県芸術劇場 〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 TEL 052-971-5609(10:00-18:00) https://www-stage.aac.pref.aichi.jp

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

協力:株式会社奥村(喫茶アルス:愛知芸術文化センター地下 2 階 アートプラザ内 営業時間:平 日10:00〜19:00 土日祝休10:00〜18:00/休み:毎週月曜日[祝休日の場合はその翌日])